

西濃農林事務所の普及活動状況

平成27年7月28日現在

今月の重点活動

■水稲 **主食用米・飼料用米作付・生育状況**

西濃管内の水稲の田植えは、4月10日に早期あきたこまち（海津市）から始まり、ひとめぼれ、コシヒカリ、あさひの夢、ハツシモ岐阜 SL と順に作業が行われ、6月下旬に終了した。主食用米の面積は約 6,300ha、その内およそ 6 割がハツシモ岐阜 SL である。また、飼料用米の面積は約 1,040ha となり、去年の 583ha から大幅に増加した。

7月までの生育は作期、品種でばらつきがあり、早期あきたこまちは5月の高温の影響を受け、出穂期は平年より3日程早くなり7月5日～18日となった。その後の品種の生育状況は、ひとめぼれが平年並～やや早めとなっている。海津のコシヒカリは、平年よりやや遅くなっているが、垂井のコシヒカリの出穂期は早くなった。あさひの夢、ハツシモ岐阜 SL は、田植え後6月の気温と日照が低く推移したため、茎数はやや少なめとなっている。
<管内各地で適期作業を指導>

品質の良い米の安定生産に向けて、6月から各地で現地研修会が開催されている。普及課からは、中干し等の水管理、昨年被害があった紋枯病の対策の実施について技術指導を行っている。また、大垣市墨俣で畦畔除草に係る労力の低減を目指して除草剤の試験を実施している。

活力ある新産地づくり

■ブロッコリー **ブロッコリー栽培前研修会の開催**

ブロッコリー栽培前研修会が各地域で開催された(7/13 神戸地域、7/15 海津地域、7/24 大垣部会、7/29 安八部会)。大垣部会及び安八部会では、毎年栽培ほ場を変更するため、栽培前に土壌診断を行っている。農業普及課は、処方箋を作成して診断結果に基づいた土壌改良資材等の施用について説明を行った。また、12月収穫となる品種・定植時期について説明し、市場要望の高いクリスマスシーズンに向けた出荷を呼びかけた。



【研修会の様子】

売れる農畜産物づくり

■いちご **27年産実績および総会の開催**

27年産の海津いちご部会の販売実績（対前年）は、累計数量85%、金額95%、単価110%であった。12月以降の日照不足・低温により出荷量が少なくなった。

海津いちご部会は、7月8,9日に東支部と西支部に分かれ、28年産の育苗ほ巡回を実施し、各生産者の苗の状況を確認した。6月には、うどんこ病の発生やアザミウマの被害があり、まだ被害葉が見られるほ場もあった。生育は、例年よりやや遅れている。

■きゅうり **27年産実績および反省会の開催**

6月末で27年産の共販出荷は終了した。販売実績（対前年）は、累計数量92%、金額93%、単価101%。年内(抑制作)の単価の伸び悩みと年明け(半促成)の数量の伸び悩みが大きく影響した結果であった。

6月22日に海津胡瓜部会栽培反省会にて、病虫害の発生状況、灌水・追肥を中心に27

年産の栽培状況についてとりまとめ、次作に向けて参考となるよう説明を行った。

■ トマト **海津トマト部会販売反省会開催**

6月29日に海津トマト部会販売反省会が開催され、平成27年産の実績と出荷推移について、全農、農協、市場関係者より報告があった。販売実績（対前年）は累計数量92%、販売額100%、単価109%であった。出荷量は1割減であったが、単価が高く、販売金額は前年と同等であった。

年内は、9月～11月は天候が比較的良好で、収量は多く、11月中旬の出荷量は、前年の200%以上となることもあった。しかし、12月以降は平年より低温、寡日照の天候となり、出荷量は少なくなった。また、4月上旬～中旬に寡日照・多湿となったため、着花不良や灰色かび病が急増し、5月～6月の収量を大きく減少させる要因となった。

■ 梨 **ハウス幸水の出荷が始まる**

大垣市曾根地域において、7月6日からハウス幸水の出荷が始まった。5月、6月上中旬の晴天で日照時間が確保できたこと、ハダニ類の被害も少なく小ぶりではあるが糖度の高い梨に仕上がった。

今年の初出荷量は0.5kg入りパックで150パック(75kg)の出荷量であった。



【出荷されるハウス梨】

■ 直売農産物 **大垣ファーマーズ総会・生産者大会の開催**

7月6日に大垣地区ファーマーズマーケット生産者友の会（JAにしみの事務局、年間販売額約5億円）の総会と生産者大会が開催された。友の会后藤会長に続き、西濃農林事務所長より「安全、安心、新鮮な農産物の安定的な供給」の継続を求めるあいさつを行った。生産者大会では、安八支部の生産者が西濃農林事務所長賞を受賞した。普及課からの情報提供として「アレチウリ」の注意喚起を行った。

多様な担い手の育成・確保

■ 女性農業経営アドバイザー **西濃ブロック視察研修会の開催**

7月9日、西濃ブロック視察研修会が開催された。高山市の(有)ポテンシャル農業研究所、(有)平瀬酒造、(株)寺田農園アンテナショップを視察し、各代表者から取り組み等について説明を受けた。各社とも特徴のある内容で、幅の広い情報を得る機会となった。



【寺田農園での研修の様子】

■ 小学生食農教育 **田植機の体験**

6月18日に安八町牧小学校児童を対象に、(農)クリーンファーム牧で田植え体験が行われた。田植え体験は、手植え体験が多い中、実際に地域で行われている8条の田植機での田植え体験であった。体験用に準備された圃場では、子供たちがオペレータの方に教えてもらい、自分で田植機を動かして苗を植えた。子供たちは農業機械に乗るのが皆初めてだった。



【田植え体験の様子】